

# 実施競技選定に向けたスケジュール(案)

(別紙2)

年度		開催手続	会場地選定	・国体：第78回大会(2023年)～第81回大会(2026年)の競技 ・全障スポ：第17回大会(2017年)の競技
2017年	10年前	内々定		<p>①【「国体」正式競技：計38競技】</p> <p>○ 毎年実施競技：計36競技 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン</p> <p>○ 隔年実施競技：計2競技 ボクシング、クレ射撃(※左記種目のうち、1種目を実施)</p> <p>①【「国体」特別競技：計1競技】 高等学校野球</p> <p>②【「全障スポ」個人競技：計6競技】 陸上競技(身・知)、水泳(身・知)・アーチェリー(身)、フライングディスク(身・知)、卓球(身・知)[サウンドテーブルテニス(身)を含む]、ボウリング(知)</p> <p>②【「全障スポ」団体競技：計7競技】 バスケットボール(知)、車椅子バスケットボール(身)、ソフトボール(知)、グランドソフトボール(身)、サッカー(知)、フットベースボール(知)、バレーボール(身・知・精)</p> <p>※「全国障害者スポーツ大会」で、今後導入が予定されている競技：2019年～卓球(精)、2021年～ボッチャ(身)</p> <p>③【「国体」公開競技：計7競技】 綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンドゴルフ、バウンドテニス、エアロビック</p> <p>④【「国体」デモンストレーションスポーツ】 例：ウォーキング、ソフトバレーボール、スポーツ吹矢 等</p> <p>⑤【「全障スポ」オープン競技】 ボウリング(身)、ブラインドテニス(身)、フットサル(精)</p>
2018年	9年前		総合開閉会式 会場の選定	
2019年	8年前		会場の選定 ③国体公開競技	
2020年	7年前	国体「正式競技」決定		
2021年	6年前	中央競技団体 正規視察		
2022年	5年前	国体「公開競技」決定 開催申請書の提出 内定 全障スポ「個人・団体競技」決定	会場の選定 ④国体デモスポ ⑤全障スポオープン競技	
2023年	4年前			
2024年	3年前	国体「デモスポ」全障スポ「オープン競技」決定 会場地総合視察(文科省・日体協) 決定		
2025年	2年前			
2026年	1年前		国体・全障スポリハーサル大会(プレ大会) 第82回国民体育大会(冬季大会)	
2027年			第82回国民体育大会文化プログラムの実施 第82回国民体育大会(本大会)・第27回全国障害者スポーツ大会	